教草女房形氣

山東京山著

巻十

十八

へ13
3580
18

へ 13
3580
2318

教草 女房形氣 十八編

姉娘 ○安政三辰の卯月京山があらはしを脱稿せし[illegible]河をかすと梵案あるあ多へ家婦草子折を持まゐらお客さまがお目にかゝらいしそ此品をとゐ水引かさしえさことる刺を言ゑ兎角齊亀毛とあり[illegible]名を言ゑべおのよろ人ドやと下女が小學をまへ侍と草履取を(一)

(二)つれさ人品のよの隠居らしのお方でござりませ[illegible](二)

(三)[illegible]案内のもとあるのに連て書本の入口紫の戸をけらいに明させ寒ふ坐ふつ[illegible]を見ま六歳の[illegible]六十三四可人品容躰官上のみえさまと[illegible]剃髪の人[illegible]初めての[illegible]禮をものべ[illegible]此翁[illegible]山の[illegible]あそやが娘が草[illegible]を[illegible]老人の作をこヽも見ましてが[illegible]行年とされべ老人[illegible]八十[illegible]大山[illegible]あや・京山[illegible]草[illegible]よ[illegible]翁[illegible]多く床に掛る懸物を[illegible]ま[illegible]ちゅうより月が[illegible]外し・え茂睡の[illegible]茂睡が梨本集をよれば茂睡へ(つゞく)

森先生著

洋算學そめ

一名早合點 全壹冊

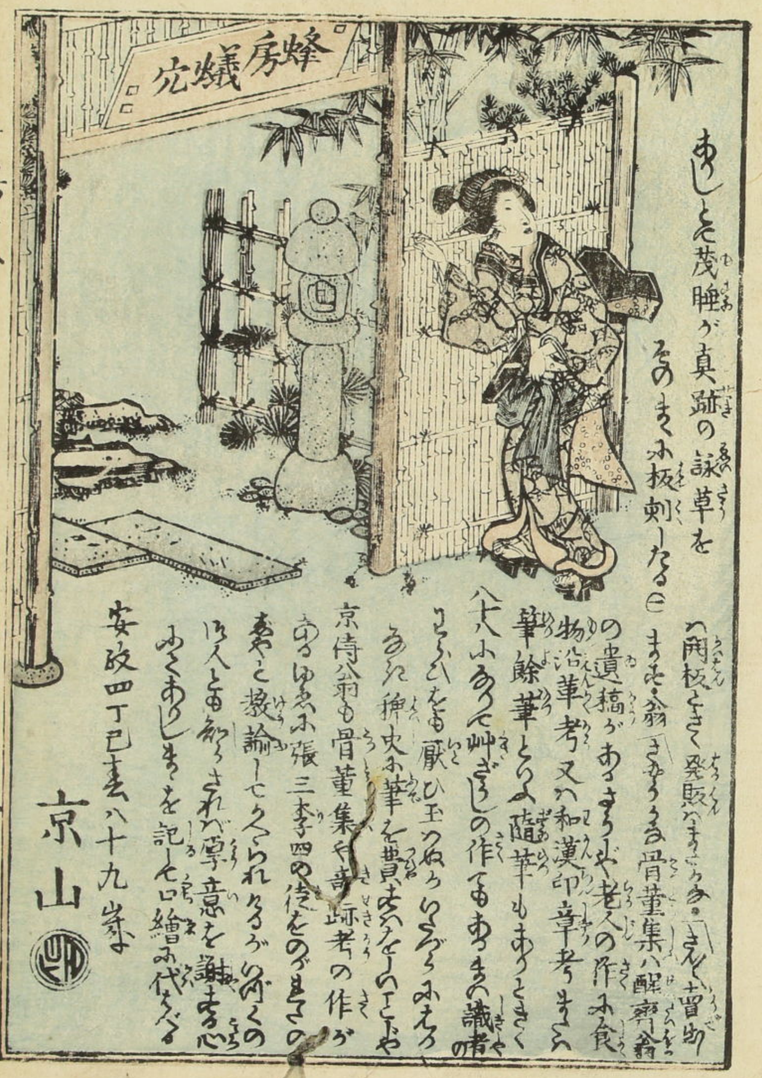
此書ハ西洋實術の緒として數字記号九々合數より加減乗除に至るまで各その用法を懇に示し次に問題各種を擧げ別に其答式を附録として頗る深切に手をとりて教ゆるが如し實に洋算早合點の書なり

[illegible]

大学図書 35.1.22 購入

つき 寛永六年 ひのえ巳の五月十九日
駿河の府中の御城三の丸にて生れ
ぬ。ゑせう又梨本集を著す。
元禄十年 つちのえ寅の年 ゆくとし
茂睡 二十歳の
時 見る
此短冊も
大ゆめ百六
七十年前の
古筆 ゆ
老人も見玉ひ
ゆめ 天保十四年
卯の夏
池田
寛蔵
が信濃ふ

(二) 折本をゆ筆ゆ此掛物のえざみ
まそ一たぶいは・京山 さゆうそこさ まも
かを家の茂睡とよびまる哥もあの内み
ぶろ性さ・翁 さゆうへトのひや家僕み
ら分包のちろ女扇を一本ゆひ
さも さて老人ゆろやさ ゆ娘が
方へ土産みひし さの一筆れ另一で
されトゆるをまが金ひ みのひし
とろそ扇やの日のま ゆ筆ゆて
○徒ゆくみ数のえ声ハあの卯月
ひのみ時をゆた山ゆさ ひ
一ゆえハ昨夜桃上の愚詠でゆろゆよ
ハ翁 さゆろを見ゆとゆで扇をゆ
ゆつゆくゆを一ゆさゆ市ゆで時高を
まゆ聞ゆまのゆ巳のあろでハ月ゆ巳い
ゆつゆ を老人ゆを名をゆく女装考



あしを茂睡が真蹤の詠草を
ゆまゆ板刺しなる(三)
ハ両板をさく発販ゆまゆろゆ骨董集ハ醒睡翁
まゆ翁 さゆろゆ骨董集ハ醒睡翁
の遺稿ゆあゆろゆ老人の作ゆ食
物沿革考 又ハ和漢印章考 ゆ
筆餘筆とゆ隨筆ゆもゆろゆ
ハ大ゆろゆ艸ざゆの作ゆもゆ ゆの識者
ゆろゆハをゆ厭ひ玉ゆねゆゆゆゆ
ゆゆ 伸史ゆ筆を貴ゆハをゆゆ
京侍公和ゆ骨董集ゆ奇跡考の作ゆ
ゆるゆゆ張三ゆ四の後をゆゆ
ゆゆ教諭ゆゆゆられゆゆゆ
ゆ人ゆ解ゆされゆ厚意を謝ゆ心
ゆゆゆゆを記ゆ口繪ゆ代ゆ
安政四丁巳ゆ八十九歳
京山

教草女房形氣十八編

きんねんのくさざうしハ
できのよきもの[illegible]
との女房かたぎ
[illegible]
十八へんめ（二）

（三）[illegible]四へんより[illegible]の女房かたぎ[illegible]十六十七へんにつゞきて十八へんを[illegible]

金箱屋箱右エ門

かまくらのかねもち[illegible]

（六）[illegible]廿一さいの[illegible]（七）

（八）[illegible]金百両[illegible]

次男錢藏

[illegible]（三）

縮右エ門惣領の枠金太郎

十六さいの[illegible]（五）

（四）[illegible]十六へんにあり

娵お雛

[illegible]

つぎへ

つづき
金太郎

芝場
大仏
髪結
下女利平

半兵衛
六郎
楠屋左門
あく玉下
女おさば
忠兵衛

伊勢西屋
忠右エ門
すとみめん

本文初段
かくまやゝ長代
店のだんさま善次

かく太郎
二段

三段
かゞ太郎
半ざえ六郎

三段の太左門

四段
太郎

山ぞく五人

せがれ藏
おひる

かぢ太郎

かぶと郎
ぜふ藏
母おまき

かぶと太郎

安政四丁巳
八十九歳 京山作

ようふひる

ぢ〜や

八段
かね太郎

おひる

火の用心

八段
女房十八
十四

つまの
忠義の
十五

九段

十二段

十七

かるた太郎
十二段

おまやく

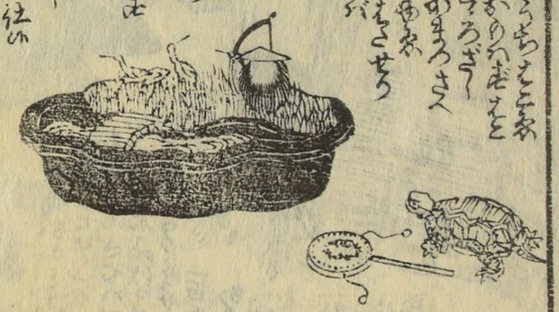
十四段
かるたたろう
おひろめ
忠臣系

重忠家臣
半沢六郎
かとあひ
女三

かとあひ太郎
ぜんぬ

安政四己
八十九公翁

京山作 國貞画



ウエブストル氏
スペルリング獨學 一冊
サービント氏第リードル獨學 一冊
日本書記神代卷 片假名付 小本二冊
宮崎先生著 早朝戰畧編 合本八冊
藤髙文先生著 地方大概集 自初編至四編各五冊完
道藤先生著 銀圖録 彩色入 全七冊
学校專用改訂 小學素讀本 二冊
英學文部 横文字獨稽古 折本壹冊
森先生著 洋算学 名西洋筭術早見表 彩色の石盤へも書く 全一冊
大阪心齋橋筋 北久寶寺町南入 藪兒書肆 前川源七郎

重談小說
稗史彙編
詩別源類

[illegible]